第４　一部事務組合・広域連合の決算概要（普通会計）

平成 29 年度における一部事務組合 22 団体及び広域連合１団体の決算概要は次のとおりである。

１　決　算　規　模

歳入	311 億 40 百万円	（前年度　292 億 83 百万円、＋6.3%）
歳出	290 億 75 百万円	（前年度　273 億 06 百万円、＋6.5%）

前年度に比べ、歳入は 6.3%増（＋18 億 57 百万円）、歳出は 6.5%増（＋17 億 69 百万円）となり、決算規模は増加に転じた。（第１表及び第２表）

また、市町村の決算規模を 100（%）とした場合、これに対する比率は歳入 2.5%（前年度 2.5%）、歳出 2.4%（前年度 2.4%）となった。

２　決　算　収　支

実質収支	17 億 85 百万円	（前年度　18 億 94 百万円、▲　5.7%）
実質単年度収支	▲75 百万円	（前年度　6 億 36 百万円、▲111.8%）

実質収支は 17 億 85 百万円の黒字となり、前年度に比べ 5.7%減（▲１億９百万円）となった。

また、実質単年度収支は▲75 百万円となり、赤字となった。（第１表及び第２表）

３　歳　入

（１）市町村分賦金

市町村分賦金は 201 億 94 百万円で、前年度に比べ 0.2%減（▲33 百万円）となった。

なお、歳入総額に占める割合は 64.8%となっており、前年度を 4.3 ポイント下回った。（第３表）

（２）地方債

地方債は 24 億 90 百万円で、前年度に比べ 108.3%増（＋12 億 95 百万円）となった。

なお、平成 29 年度末地方債現在高は 129 億 78 百万円で、前年度末に比べ 10.6%増(＋12 億 43 百万円）となった。（第３表及び第８表）

（３）国庫支出金・県支出金

国庫支出金は 15 億 59 百万円で、前年度に比べ 20.8%減（▲４億８百万円）となった。

また、県支出金は１億 58 百万円で、前年度に比べ 7.4%減（▲13 百万円）となった。（第３表）

４　歳　出

（１）目的別歳出の状況

目的別歳出は、消防費が 92 億 21 百万円（構成比 31.7％）で最も大きく、次いで総務費 72 億 77 百万円（同 25.0％）、民生費 72 億 31 百万円（同 24.9％）の順となっている。

また、対前年度増減率は、民生費（＋24.5％）、総務費（＋9.3％）などが増加し、衛生費（▲10.7％）、議会費（▲2.7％）などが減少した。（第４表）

（２）性質別歳出の状況

性質別歳出は、人件費が 145 億６百万円（構成比 49.9％）で最も大きく、次いで物件費 44 億 61 百万円（同 15.3％）、普通建設事業費 36 億 41 百万円（同 12.5％）の順となっている。

また、対前年度増減率は、積立金（＋164.8％）、普通建設事業費（＋92.3％）などが増加し、繰出金（▲23.3％）、維持補修費（▲18.6％）などが減少した。（第５表）